



LK12C1FN



スカイマスター MASTER

※カタログ内の掲載画像はオプション装着車です

より「軽量」に、より「効率的」に

準中型自動車運転免許に対応した軌陸両用高所作業車が登場。

現場の要望ににんえた1台で安全かつ効率的な作業環境を実現します。

LK12C1FN

CONTENTS

P.03 機種特長	Model Features
P.05 特長紹介	Feature Introduction
P.10 構造・装備	Structure and Equipment
P.11 操作装置	Operating Device
P.13 緊急操作手順	Emergency Operation Procedure

P.15 車両寸法図	Vehicle Dimensions
P.17 作業範囲図	Working Range
P.20 SMIL	Smart Messenger & Intelligence Lines system
P.21 主要諸元	Main Specifications
P.22 拠点一覧	Domestic Bases

※掲載画像はオプション装着車です

機種特長

最大地上高
12.1m

上部
最大積載荷重
200kg※
(2名)

車両
最大積載重量
200kg※

車両総重量
7.5t
未 満

※ ウインチ仕様 (オプション) の場合は変更となります

LK12C1FN

準中型自動車運転免許で運転可能

車両総重量を7.5t未満としたことで、準中型自動車運転免許で運転が可能。より多くの人が運転できるため、現場作業の効率化に貢献します。

車両区分	車両総重量	最大積載重量	乗車定員		
			10人以下	29人以下	30人以下
大型	11.0t以上	6.5t以上	大型免許		
中型	11.0t未満	6.5t未満	中型免許		
	8.0t未満	5.0t未満			
準中型	7.5t未満	4.5t未満	準中型免許		
	5.0t未満	3.0t未満			
普通	3.5t未満	2.0t未満	普通免許		

従来機
LK12C1FN

Model Features

側方作業範囲を拡大

ブーム軽量化によって全周同一の作業範囲を実現。特に作業頻度が高い側方領域のアプローチエリアを拡大することで、作業効率の向上に貢献します。

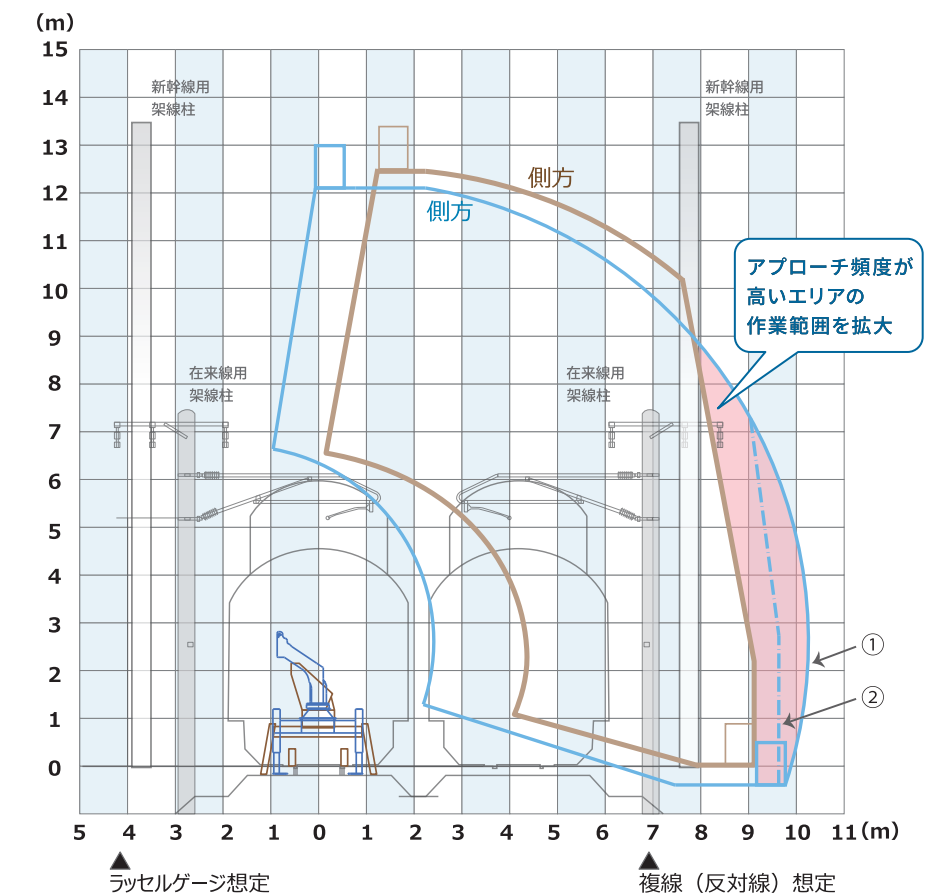
LK12C1FN

側方

- ①カント 93mm以下 (狭軌)
125mm以下 (標準軌)
- ②カント 93mm超～105mm以下 (狭軌)
125mm超～200mm以下 (標準軌)

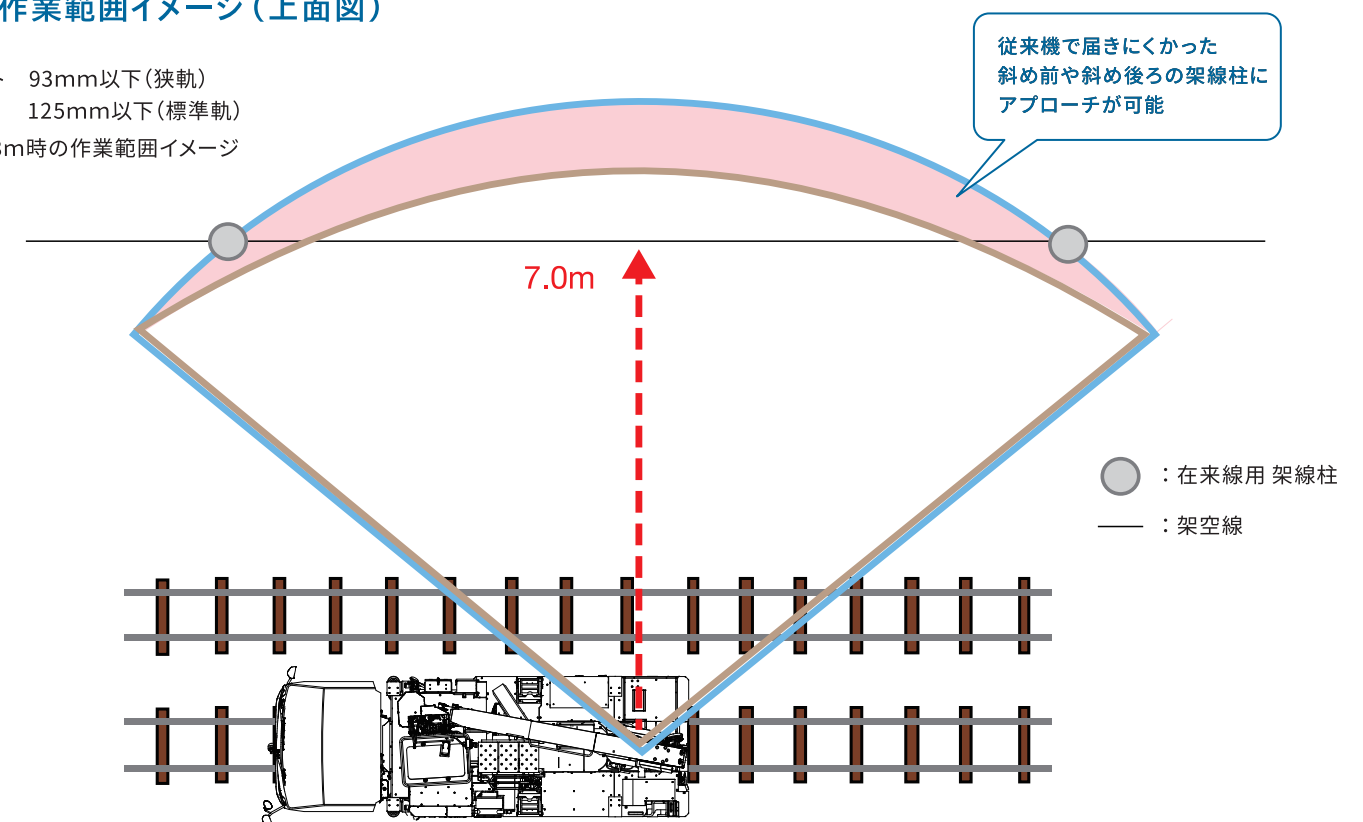
LK12A (従来機)

側方 ジャッキ最大張出



作業範囲イメージ (上面図)

- ・ カント 93mm以下 (狭軌)
125mm以下 (標準軌)
- ・ 揚程8m時の作業範囲イメージ



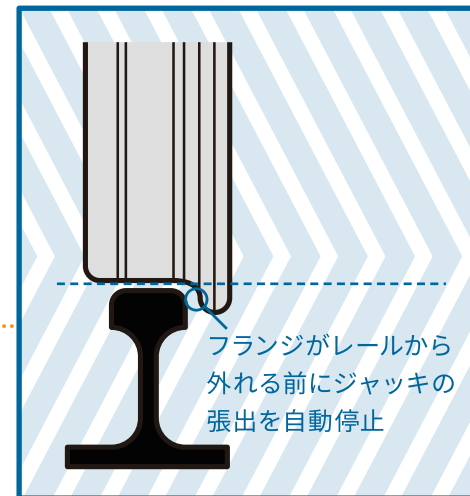
※掲載画像はオプション装着車です

作業効率

かんたん操作で作業効率化をサポート

ジャッキ自動張出装置（脱輪防止機能付き）

ジャッキ自動セットスイッチで4本同時にジャッキ操作が可能です。またセンサーの働きにより、鉄輪のフランジがレールから外れる前にジャッキの張出を自動停止。迅速かつ安全なジャッキ張出に貢献します。



狭軌・標準軌両用仕様

現場の線路幅に合わせて鉄輪幅の切替が可能な機構を標準装備。油圧動力で操作を行うため省力化に寄与します。

※オプションで「中間軌」の設定もご用意しました 



≫ 狭軌



≫ 標準軌

新在線対応

鉄輪走行モーターを改良したことで新在線にも対応。より多くの現場で活用可能です。



従来機の
モーター構造

新在線における
車両限界

≫ 鉄輪走行モーター

駐車ブレーキを他箇所に移設したことでモーターサイズを縮小。新在線における車両限界の内側に収まる構造を実現しました。

※上図の「新在線における車両限界」はイメージです

転車板格納アシスト装置

載退線時における転車台設置および格納の際に、スイッチ操作で転車板の向きを調整可能。車両の下を覗き込みながら専用回転棒を使う必要がなくはさまれ/巻き込まれリスクの低減と載退線作業の時間短縮に貢献します。



≫ 転車板格納アシスト装置

スイッチ操作で転車板の向きを調整可能です。

安全

さらなる安全作業のために

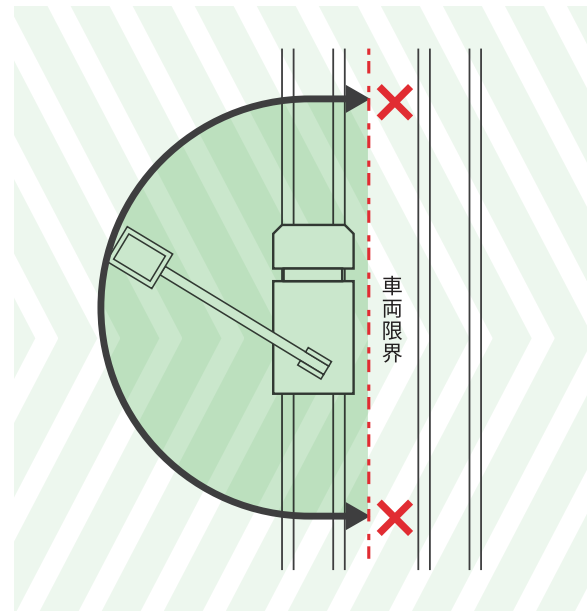
軌道内ブーム旋回規制装置

車両右側または左側へのブーム旋回を規制することで隣接線が線路封鎖されていない現場などにおける安全性の向上に貢献します。



切替スイッチ

選択スイッチを入れる方向によって、旋回可能側を切替できます。



(例) 選択スイッチを左に入れることで
車両左側のみブーム旋回が可能

車両逸走防止装置

装置の電源を入れると、センサーが運転手の着席有無を検知。未着席時には警報を発してブレーキが自動的に作動することで車両逸走リスクを低減します。



操作装置



運転手検出センサー

予備バッテリー

機械トラブルによる作業遅れの発生リスクを低減するため、2系統の電源を標準装備。スイッチでメイン・予備の切替ができ、バッテリー上がりの際も予備電源でエンジン始動が可能です。

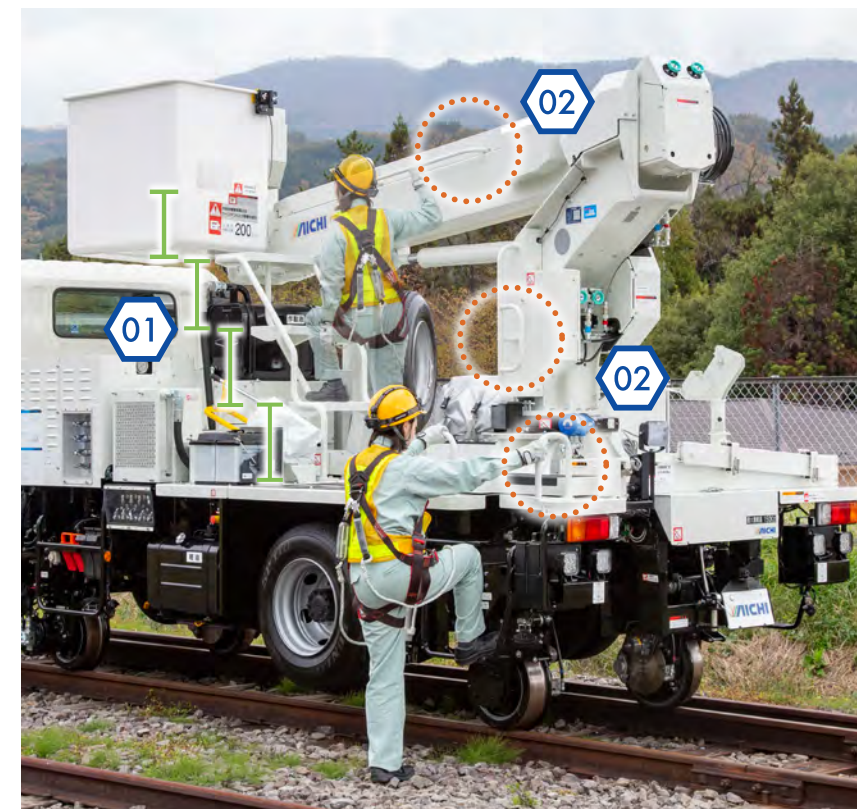


切替スイッチ

等間隔ステップ 01

昇降手すり 02

昇降ステップを等間隔に配置することで踏み外しリスクを低減。
また三点支持の体勢を取りやすくするための手すりを配置することで地上～作業床までの安全な昇降に寄与します。



等間隔ステップ



昇降手すり

転車台灯

鉄輪灯

光量が限られた夜間工事でも安全に作業できるよう照明灯を標準装備。
作業者の視界を補助することで安全性の向上に貢献します。



切替スイッチ



切替スイッチ

※掲載画像はオプション装着車です

メンテナンス

日常メンテナンスを効率的に

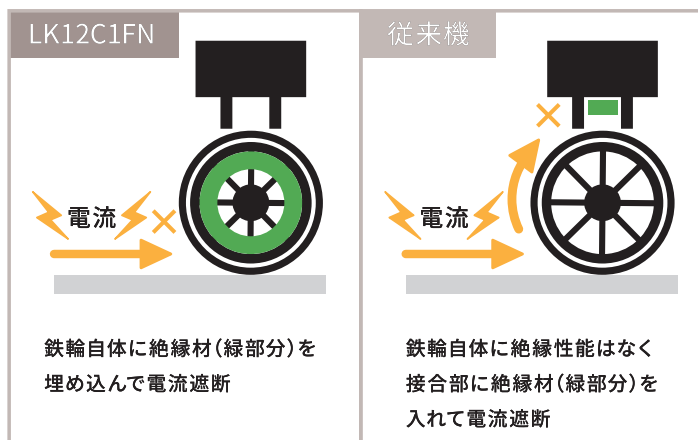
絶縁鉄輪

絶縁材を鉄輪本体に埋め込む新構造を採用。左右レール間の絶縁性能を確保するための拭き取り作業を簡単かつ効率よく行うことが可能です。

※スイッチで「絶縁/短絡モード」の切替が可能です



≫ 絶縁鉄輪



始業前点検スイッチ

スイッチ操作のみでセンサー類の始業前点検が可能。点検時に所定の作業姿勢を作る必要がなくなったためスムーズな作業開始に寄与します。



≫ 始業前点検

スイッチ操作のみでスムーズに始業前点検が可能です。



構造・装備



≫ 100kgウインチ 01 OP

上部操作装置部に電動ウインチを装着。



≫ 大型墜落制止用器具フック掛け 02

フックの着脱しやすい構造を採用しました。



≫ 右工具箱 03

寸法(幅×高さ×奥行)890mm×500mm×480mm



≫ 後方荷枠 04

資材や工具の搭載に便利な大型の荷枠を装備しました。



≫ キャビン乗降用ステップ 05

足掛けステップを使用することでキャビンへの楽な乗り降りに貢献します。

※ OP マークは「オプション装備」であることを表します
※掲載画像はオプション装着車です



≫ 上部操作装置 01

≫ 定低速走行装置

上部操作による軌道走行速度をダイヤルで設定。
一定速度内で軌道走行が可能です。

≫ ブーム自動格納装置

スイッチを入れると、作業床の「旋回」「平衡」
およびブームの「起伏下げ」「縮」「旋回」を
自動制御しながら格納します。



≫ 車両運転席内操作装置 03



≫ 回送時走行操作装置 04



≫ 下部操作装置／ジャッキ操作装置／旋回規制スイッチ 02



≫ 鉄輪／転車台操作装置 05

※掲載画像はオプション装着車です
※マークは「操作部照明を装備」していることを表します

■ 搭載品（緊急操作用）

機械故障など不測の事態に備え、緊急操作用の専用パーツや工具等を搭載しています。

※ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください



≫ 搭載品（緊急操作用）

■ 架装部緊急格納

1 ブーム縮操作

ブーム後方のハンドルを回すことでブーム縮操作が可能です。

※自重格納



※ハンドポンプを使用した格納も可能です

2 ブーム旋回操作

旋回台および異常時油圧投入口に専用ホースを接続し、ハンドポンプを使用することで旋回位置の調整が可能です。



3 ブーム起伏下げ操作

起伏シリンダーのハンドルを回すことでブーム起伏下げ操作が可能です。

※自重格納



※ハンドポンプを使用した格納も可能です

4 ジャッキ格納操作

異常時油圧投入口に専用ホースを接続しハンドポンプを使用することでジャッキの格納が可能です。



5 鉄輪格納・転車台操作

異常時油圧投入口に専用ホースを接続しハンドポンプを使用することで鉄輪の格納および転車台の操作が可能です。



■ その他操作

■ 緊急ブレーキ操作

走行中のブレーキ故障が発生した場合に、別系統のブレーキを用いて減速や停止が可能です。

※使用後はサービス工場での点検が必要です



≫ 保安ブレーキ

■ 被けん引作業

機械トラブルによって自力走行ができなくなった場合に、他車両にけん引してもらうことで軌道上から退避可能です。

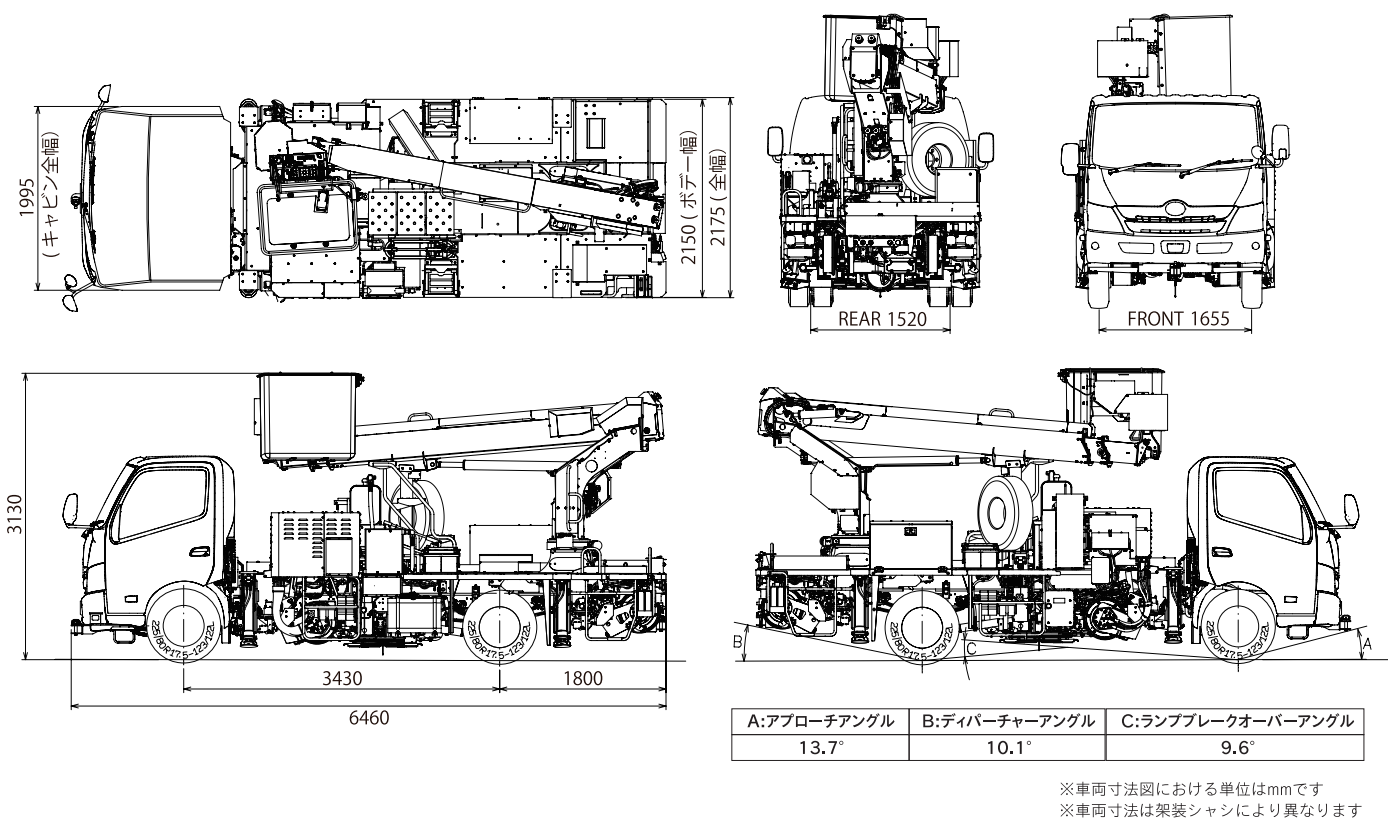
※手動でブレーキの解除が可能です
※前連結器は脱着式となります
※道路走行時には前連結器を取り外してください



≫ 連結器

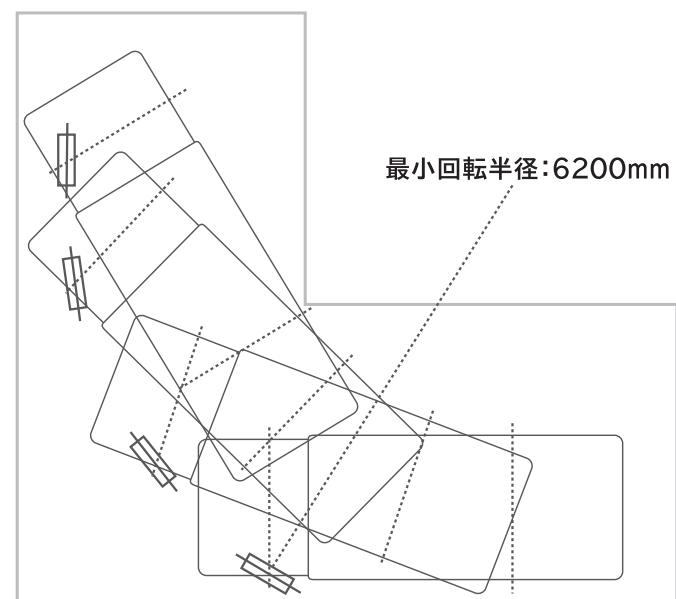
※掲載画像はオプション装着車です

車両寸法図(道路走行姿勢)



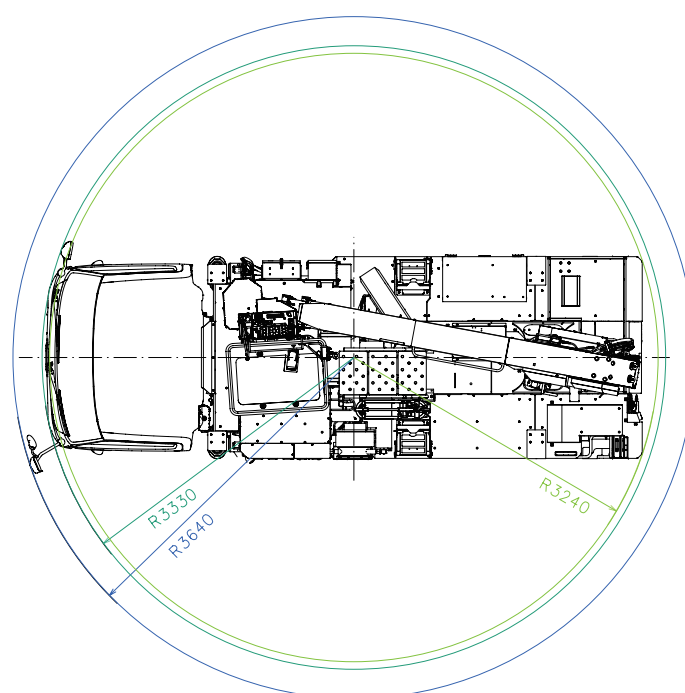
最小直角通路幅

所要道路幅:4200mm



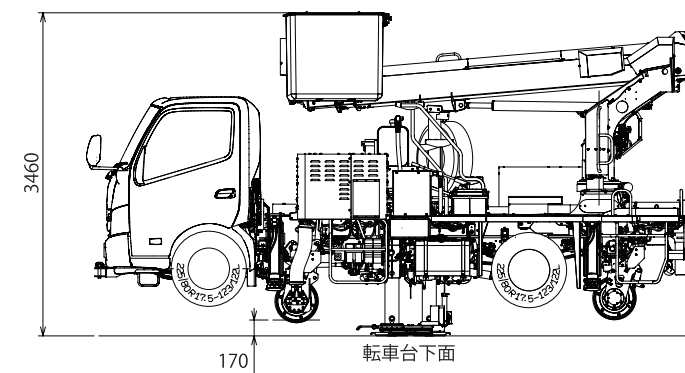
※上図にはミラー等を含みません
※数値は参考値です

転車回転半径

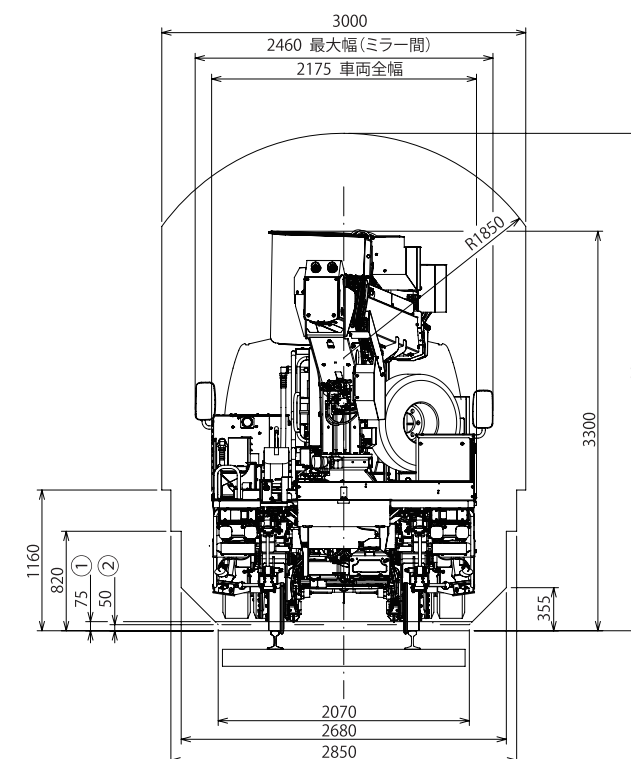


※車両寸法図における単位はmmです
※車両寸法は架装シャシにより異なります

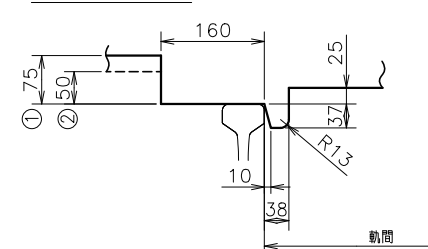
車両寸法図(載線時)



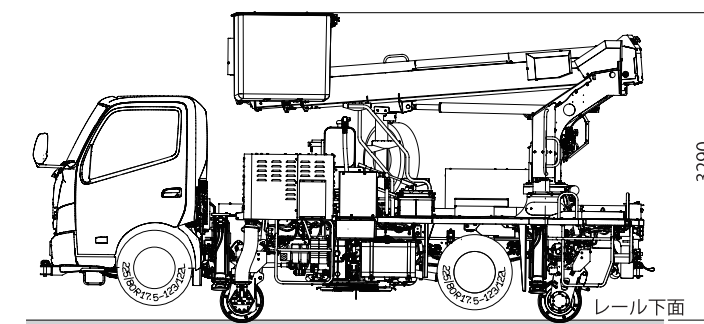
製作車両の限界図



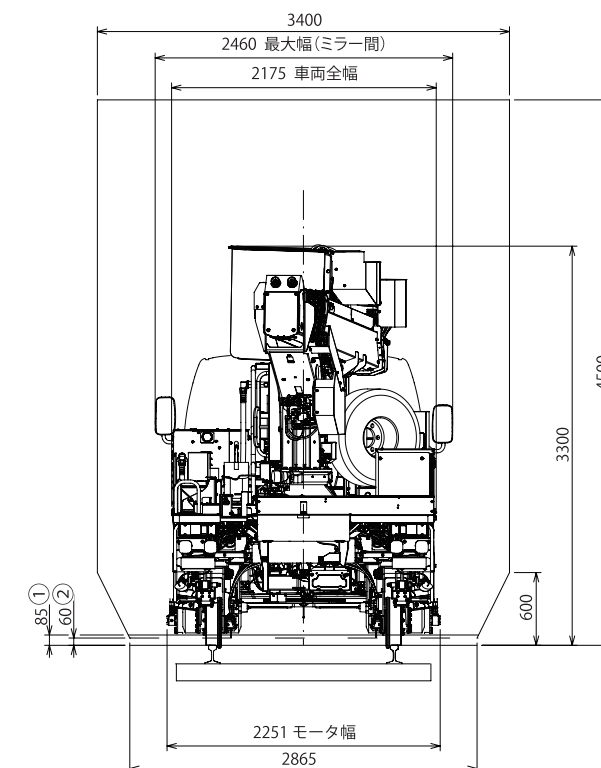
車輪に対する車両限界寸法



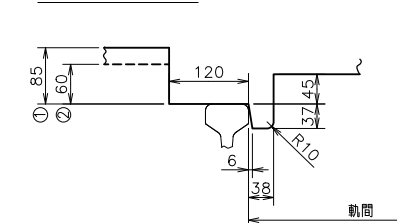
車両寸法図(軌道走行時)



※車両寸法図における単位はmmです
※車両寸法は架装シャシにより異なります
※積載量の変化(前後重心変化)により、高さ寸法が変動する場合があります



車輪に対する車両限界寸法



※製作車両の限界図における単位はmmです
※軌間は「狭軌:1067mm」「中間軌:1372mm」「標準軌:1435mm」に対応しています
※①は車両限界を表します
※①寸法は架装シャシの前タイヤに適用(サスロックなし)
※②はバネの作用により上下しない部分に対する限界を表します
※②寸法は架装シャシの後タイヤに適用(サスロックあり)

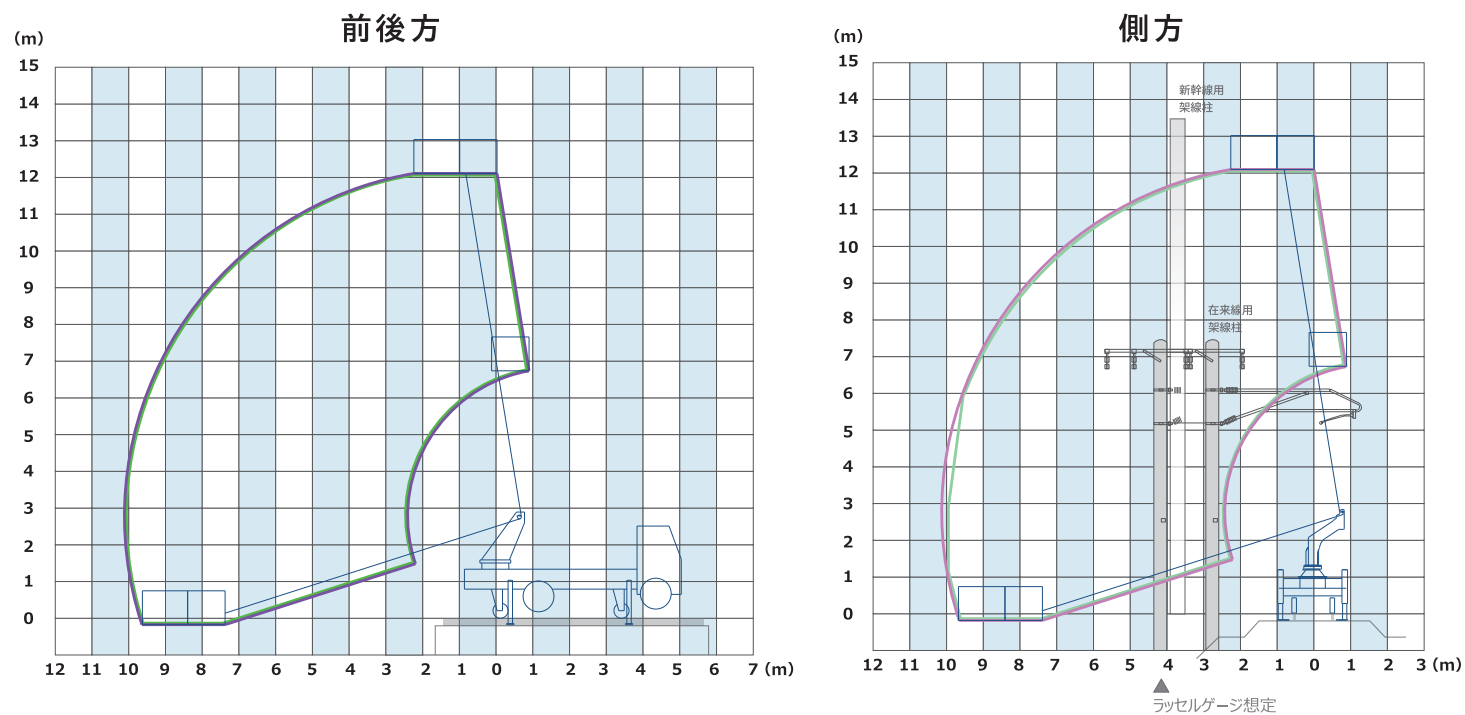
作業範囲図

Working Range

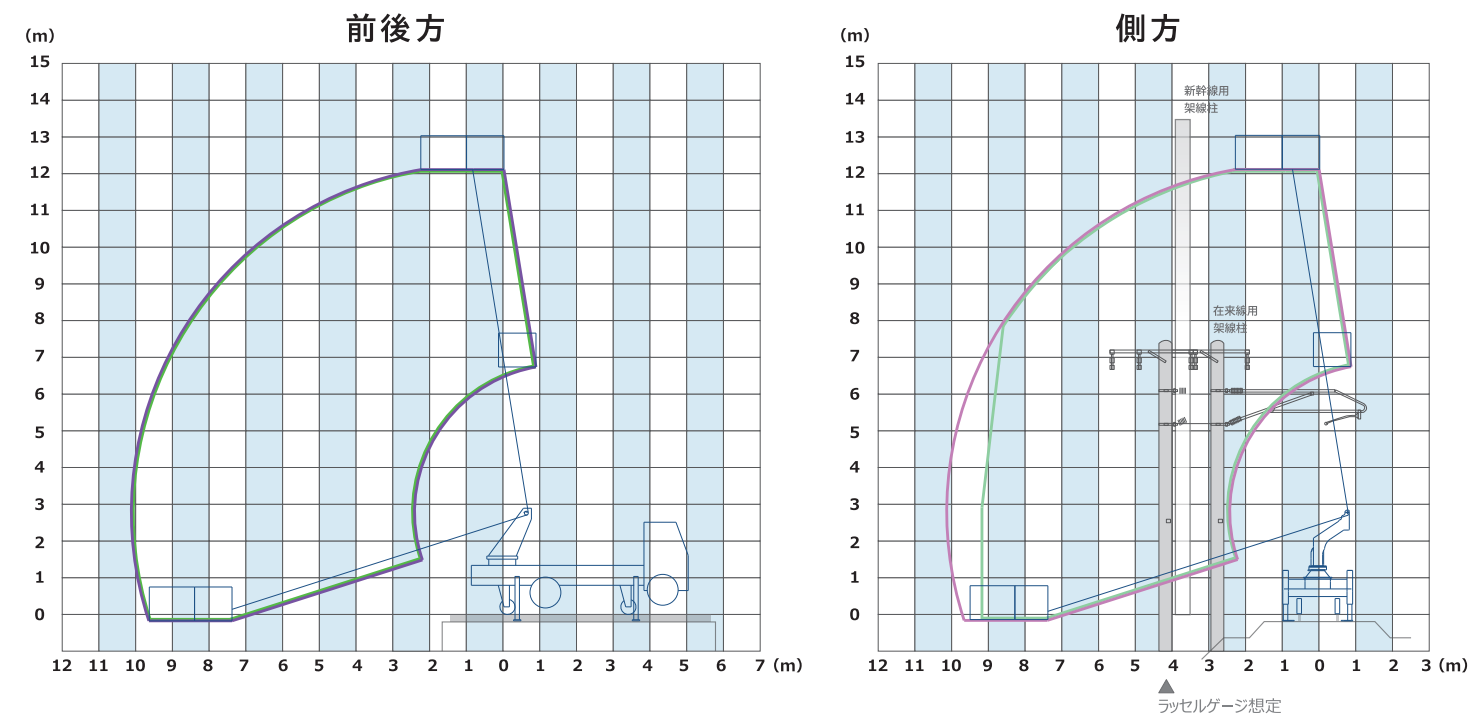
カント56mm以下：狭軌
カント72mm以下：中間軌
カント75mm以下：標準軌

カント56mm超～93mm以下：狭軌
カント72mm超～120mm以下：中間軌
カント75mm超～125mm以下：標準軌

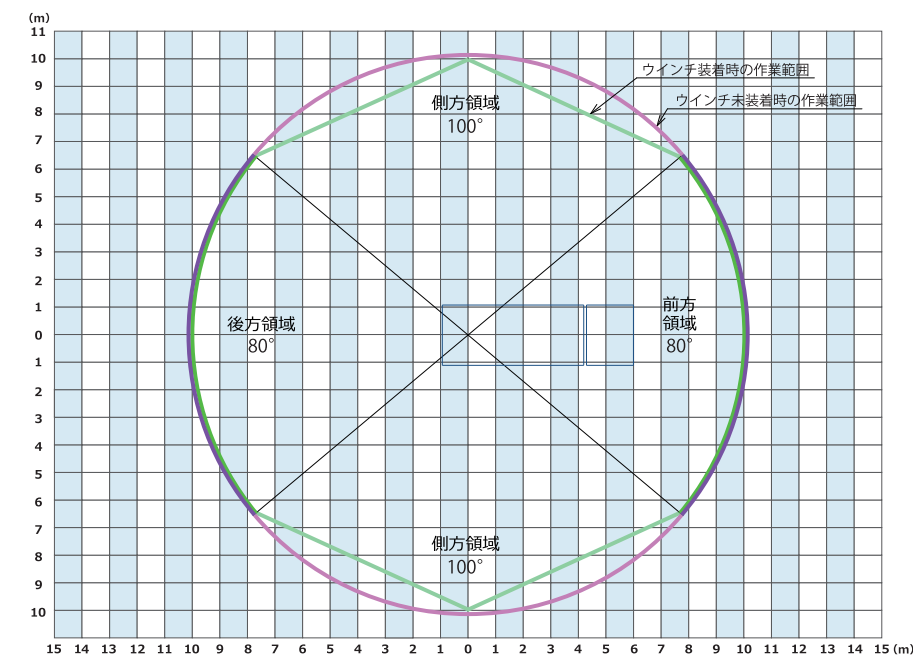
作業範囲図（側面図）



作業範囲図（側面図）



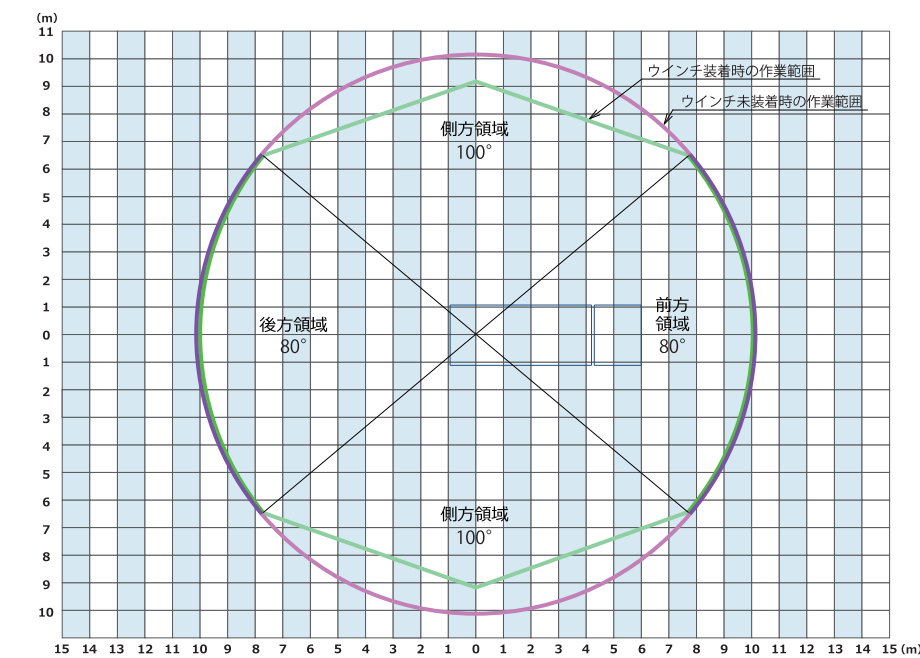
作業範囲イメージ（上面図）



ウインチ装着時の作業範囲：緑線
ウインチ未装着時の作業範囲：紫線

※濃い色の罫線は「前後方」における作業範囲を
淡色の罫線は「側方」における作業範囲を表します
※作業範囲図にブームのたわみは考慮されていません
※ブームの旋回角度に応じて作業範囲は変化します
※キャビンやフレーム等とブームおよびバケットとの干渉を避けるため
ブーム旋回位置により最小起伏角度が異なります
※上面図はイメージとなります。車両や使用現場の状態によっては
図示の作業領域まで到達しない場合があります

作業範囲イメージ（上面図）



ウインチ装着時の作業範囲：緑線
ウインチ未装着時の作業範囲：紫線

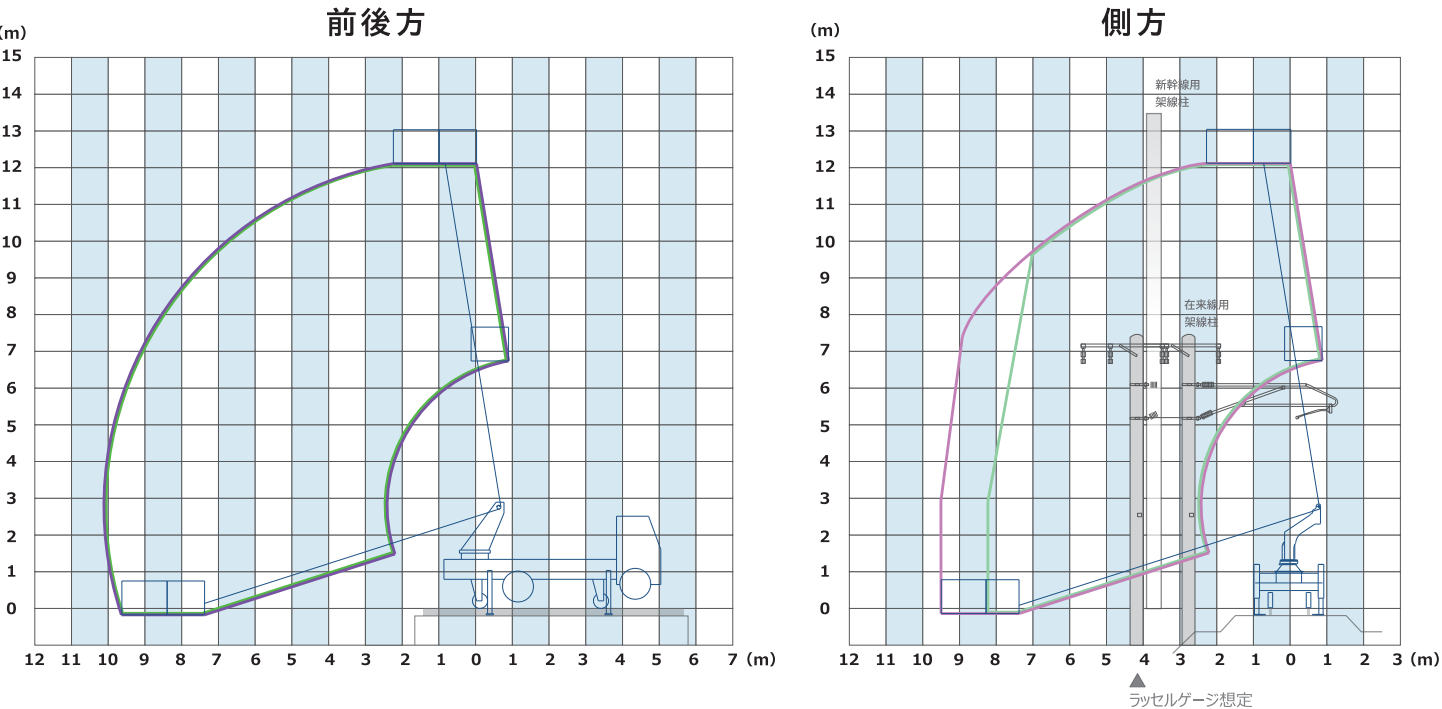
※濃い色の罫線は「前後方」における作業範囲を
淡色の罫線は「側方」における作業範囲を表します
※作業範囲図にブームのたわみは考慮されていません
※ブームの旋回角度に応じて作業範囲は変化します
※キャビンやフレーム等とブームおよびバケットとの干渉を避けるため
ブーム旋回位置により最小起伏角度が異なります
※上面図はイメージとなります。車両や使用現場の状態によっては
図示の作業領域まで到達しない場合があります



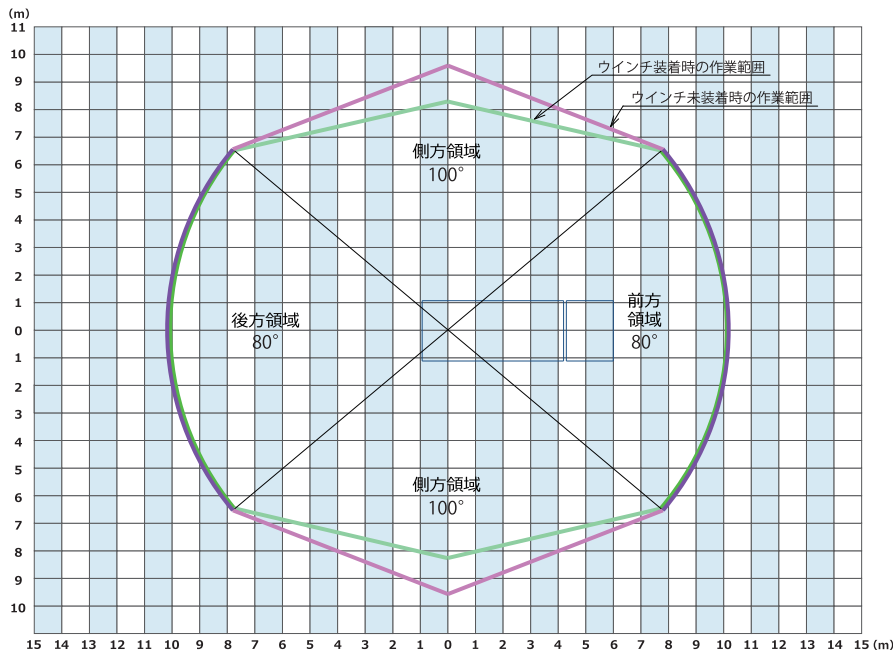
作業範囲図/SMIL

カント93mm超～105mm以下:狭軌
カント120mm超～135mm以下:中間軌
カント125mm超～200mm以下:標準軌

作業範囲図（側面図）



作業範囲イメージ（上面図）



ウインチ装着時の作業範囲：緑線
ウインチ未装着時の作業範囲：紫線

※濃色の罫線は「前後方」における作業範囲を
淡色の罫線は「側方」における作業範囲を表します
※作業範囲図にブームのたわみは考慮されていません
※ブームの旋回角度に応じて作業範囲は変化します
※キャビンやフレーム等とブームおよびバケットとの干渉を避けるため
ブーム旋回位置により最小起伏角度が異なります
※上面図はイメージとなります。車両や使用現場の状態によっては
図示の作業領域まで到達しない場合があります

現場作業に、スマイルを。

SMIL® **OP**
Smart Messenger & Intelligence Lines system

CHECK!
SMIL紹介ビデオ



QRコードを読み込むことで
紹介動画をご覧頂けます

遠隔モニタリング&データ活用サービス

スマイルは、機械から自動で得られる作動記録を
「経営」「管理」「現場」に活用できる情報として提供します。

稼働効率の改善

機械の稼働状況を
日・月・年単位で統計情報に。
作業上の課題を明確にすることで
稼働効率の改善に貢献します。

メンテナンス効率化

部位ごとの稼働やエラーシグナルを
把握することで、それぞれの
機械状態に合った最適な
メンテナンスの実現に貢献します。

経営改善

機械の稼働状況がデータで
わかるので、より効率的な
機械の配置や管理、作業計画などに
役立てることができます。

安全対策

機械の故障、不安全操作などの
発生状況もしっかり見える化。
適切な機械メンテナンスや
作業者への安全教育に
活用できます。

機械の情報はインターネットを介して、専用サイトから閲覧可能です。



GPS



SMILテレマ装置



携帯通信システム



管理サーバ



お客さま専用サイト

SMIL®の主な機能

1 車両管理

車検や検査を計画的に

管理する機械を一覧にしてWebで閲覧や
データを出力することもできます。
車検や検査期限なども確認できるので
適切な車両管理をサポートします。

2 稼働管理

よりきめ細かく把握

さまざまな機能で機械の稼働を管理。
集められたデータや情報は
日々の安全な機械の運用、メンテナンスや
業務の改善・効率化に貢献します。

3 統計情報

すぐに集計、すぐに活用

機械の情報はワンクリックで
「日報」「月報」「年報」として集計し表示。
キーON時間、総作動時間などといった
詳細情報の集計も閲覧できます。

※ **OP** マークは「オプション装備」であることを表します



主要諸元

型式				LK12C1FN	
名称				軌陸両用高所作業車	
作業装置	作業床	最大積載荷重	標準仕様	200kg(2名)	
			ウインチ仕様(※1)	ウインチ装着時	100kg(1名)
		ウインチ未装着時		200kg(2名)	
		最大地上高	12.1m		
		最大作業半径	10.1m		
		内側寸法	1.0m×0.7m×0.9m(幅×奥行×高さ)		
	首振角度 / 首振速度	210°(左105°～右105°) / 20s			
	ブーム	型式	3段同時伸縮		
		長さ	3.9m～9.4m		
		伸縮ストローク / 伸縮速度	5.5m / 25s(伸)、20s(縮)		
起伏角度 / 起伏速度		-17°～80° / 40s(上)、35s(下)			
旋回装置	旋回角度 / 旋回速度		360°全旋回 / 1.0rpm		
ジャッキ	ジャッキ張幅(※2)	前	2080mm		
		後	2080mm		
軌道走行装置	鉄輪	軌間	狭軌	1067mm	
			標準軌	1435mm	
		鉄輪リムの一对の内面距離	狭軌	989mm～994mm	
			標準軌	1358mm～1363mm	
		鉄輪の直径		410mm	
		鉄輪外周形状		修正円弧路面	
		鉄輪フランジ高さ		27mm	
		鉄輪のリム幅		125mm	
	転車台	鉄輪左右間の絶縁		1MΩ以上(乾燥時、500Vメガテスタにて)	
		絶縁・短絡切替機能		有(※3)	
		転車台旋回角度		360°全旋回	
		使用可能最大カント		110mm(0/1000にて)	
	転車台軌道接触面の構造		一部に絶縁樹脂取付		
	走行方式			前鉄輪油圧駆動	
	走行操作位置			車両運転席(回送時移動走行)	
	軌道走行時制動灯			バケット(遠隔定低速走行)	
				制動時車両方向指示灯が左右交互点滅 (軌道内での赤色灯は不点灯)	
軌道走行性能	最高速度	45km/h以上(直線、0/1000、乾燥時)			
	制動性能	初速45km/hにて70m以下(直線、0/1000、乾燥時)			
	登坂能力	35/1000以上(直線、最大積載時、乾燥時)			
	遠隔定低速走行	速度調整範囲	約1km/h～15km/h		
		登坂能力	35/1000		
	保安ブレーキ制動性能		初速5km/hにて70m以下(直線、35/1000、乾燥時)		
	曲線通過性能	狭軌	5mmのスラックを有する曲線半径100mの曲線を通過可能		
標準軌		5mmのスラックを有する曲線半径200mの曲線を通過可能			

※1. ウインチ仕様はオプション装備となります
※2. ジャッキ張幅とは「左ジャッキの中心～右ジャッキの中心」を指します
※3. 軌道短絡を保証するものではありません

安全に関する
ご注意

●高所作業車の操作には以下の資格が必要です。
・作業床の最大高さが2m 以上 10m 未満のものは、高所作業車運転のための「特別教育修了者」または「技能講習修了者」
・作業床の最大高さが10m 以上のものは、高所作業車運転のための「技能講習修了者」

●高所作業車の操作には「労働安全衛生法」「労働安全衛生規則」にもとづく適切な装備・器具の着用が必要です。

●強風(10 分間の平均風速 10m/s 以上)、大雨(1 回の降雨量 50 mm以上)大雪(1 回の降雪量 250 mm以上)等、悪天候下での、2m 以上の高所作業は法令により禁止されています。

●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
※本仕様、装備名称および外観や構造の一部を予告なく変更することがあります
※車両および装備の色は撮影、印刷インキの関係で実際の商品と異なって見えることがあります
※本カタログ内の数値は参考値となります
※掲載されているオプションについては、仕様内容によっては装着できない場合があります

わたくしたちは、新しい変化を創造することで
社会の発展につくします

LK12C1FN導入のご相談を承ります

お問い合わせ先・営業拠点

本社	TEL.048-781-1111	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の10
営業企画部	TEL.048-781-3330	〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の10
北日本支店	TEL.022-236-0421	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 3-4-8
北日本支店 北海道	TEL.011-665-1301	〒063-0834 北海道札幌市西区発寒 14 条 4 丁目 2-70
関東支店	TEL.048-852-1104	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4
中部支店	TEL.052-621-5112	〒459-8001 愛知県名古屋市長区大高町丸の内 70-1
中部支店 北陸	TEL.076-434-2181	〒930-0177 富山県富山市西二俣 354
関西支店	TEL.06-6307-4567	〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川 3-9-56
中四国支店	TEL.082-429-2011	〒739-0151 広島県東広島市八本松町大字原 10852-57
中四国支店 四国	TEL.087-874-0808	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分 59-7
九州支店	TEL.092-935-5353	〒811-2207 福岡県粕屋郡志免町南里 2-26-1
九州支店 サテライト沖縄	TEL.098-867-7337	〒900-0014 沖縄県那覇市松尾 2 丁目 17-29 タウンコート玉商 B 棟 6-G

機械化車両をより効果的に運用いただくために

機械の運用、安全のためにご活用ください

アイチ研修センターは、メーカーの教習機関として「経験豊富なスタッフ」「充実した設備」「最新の機材」により、お客さまのご要望にお応えします。
現場に即した実践的な実技指導を特徴とし、資格取得だけでなく、危険再認識教育や技能向上教育など幅広いお役立ちを目指しております。

アイチ研修センター 労働局長登録教習機関

TEL.048-725-4441 FAX.048-725-4466
<https://www.aichi-kensyu.co.jp>

機械化車両を安心・安定して運用いただくために

点検と最適なメンテナンスのご提供

「いつもベストなコンディションで使える」「故障による機械停止などの低減」のために、機械の定期点検をお勧めします。
定期点検は、専門教育を受けている全国200箇所以上のアイチコーポレーションのサービスネットワークへお任せください。

※詳しくは最寄りのアイチコーポレーションカスタマーサービスセンターにお問い合わせください
※最新の全国ネットワークサービスについては弊社ホームページで確認できます

北日本支店	東北中央カスタマーサービスセンター	TEL.022-236-0421
	北海道中央カスタマーサービスセンター	TEL.011-665-1301
	新潟カスタマーサービスセンター	TEL.025-259-6661
関東支店	関東中央カスタマーサービスセンター	TEL.048-852-1101
	上尾カスタマーサービスセンター	TEL.048-781-1503
	神奈川カスタマーサービスセンター	TEL.045-921-3905
中部支店	名古屋中央カスタマーサービスセンター	TEL.052-621-2290
	北陸中央カスタマーサービスセンター	TEL.076-434-2181
	三重サービスステーション	TEL.059-264-7873
関西支店	大阪中央カスタマーサービスセンター	TEL.06-6307-4555
	神戸サービスステーション	TEL.078-974-1231
中四国支店	広島中央カスタマーサービスセンター	TEL.082-429-2011
	高松サービスステーション	TEL.087-874-0808
	今治サービスステーション	TEL.0898-32-0860
九州支店	九州中央カスタマーサービスセンター	TEL.092-935-5353

21 | AICHI CORPORATION

AICHI CORPORATION | 22

「安全」「効率」「快適」を現場に

一人ひとりのお客さまにとって「なくてはならない存在」に。
作業環境創造企業として
課題解決のパートナーを目指します。

株式会社 **アイチ** コーポレーション

●アイチコーポレーション オフィシャルホームページ
<https://www.aichi-corp.co.jp>



※カタログ中の写真、イラストは実際の仕様と異なる場合があります
また記載の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください

※機械化車両は完成車の品質を検査するために作動テストを行います。そのため納車時にアワメーターの数値が増えている場合があります
※完成車をお届けするにあたり、自走する場合があります。そのため納車時に走行距離の数値が増えている場合があります